

特色

腎臓は体内のネットワークの要です。心腎連関、肝腎連関、脳腎連関、腸腎連関、骨腎連関などと呼ばれ、他の臓器との関係が近年詳細に研究されています。

急性腎障害(AKI)は香川県を含む超高齢化社会や当院が果たすべき高度先進医療のなかで急増しています。AKI後の死亡率は入院中や退院後ともに高率です。AKI後、慢性腎臓病(CKD)に進展する症例も多いと言われています。

当院では、各科で治療を受けている患者さんの中に、2ヶ月で約2,500名のCKD症例が含まれています。また、年間約150例の患者さんが持続血液濾過透析(CHDF)、血液透析(HD)、敗血症に対する血液吸着、血漿交換等急性血液浄化療法を集中治療室で受けています。外来血液透析室では、入院外来症例併せて年間約

300例の末期腎不全患者さんが維持血液透析を受けています。腎代替療法では、積極的に在宅透析である腹膜透析を勧めていますので香川県下最多の約70例の腹膜透析患者さんの治療を行っています。腎臓移植もこれまで生体腎移植、献腎移植併せて52例行ってきました。

平成30年7月より当院腎臓内科医師増員の機会を得たこと、すでに当院小児科(腎担当)では小児腎臓病に対し最先端の医療を提供していることより、これまでの腎センターを腎臓病総合医療センターに改編し腎臓内科、小児科、腎不全外科・泌尿器科が連携し小児から高齢者まですべての腎疾患に対し適切で高度な医療を提供し地域の皆様方より信頼されるよう努めてまいります。

センター組織図



専門医・指導医等

- 日本透析学会:透析専門医6名
- 日本腎臓学会:腎臓病療養指導士4名
- 日本腹膜透析学会:腹膜透析認定看護師7名
- 透析療法合同専門委員会:透析技術認定士4名
- 日本腎臓学会:腎臓専門医4名
- 日本移植学会:移植認定医2名
- 日本腎不全看護学会:慢性腎臓病療養指導看護師1名

対象疾患・診療実績

腎臓内科、小児科(腎臓)、泌尿器科/腎不全外科のページを御参照ください。

センターとしての活動

- **腎疾患合同カンファレンス(毎週月曜日16:30)**
センター関連症例の治療方針や治療後の経過等について検討します。
- **腎臓病教室**
年2回早期腎臓病患者および家族を対象に行います。
- **世界腎臓病デー(毎年3月第2週木曜日)に関する行事**
地域連携室とCKD対策委員会メンバーが中心となり開催予定。